

がんばろう
末崎!

津波なんかには
負けない!

館報まつさき

第245号
平成27年4月20日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話 (F兼) 29-2955

末崎の風土散策 (34)

～伝説「あんこあきらめろ」～ その1

碁石岬は三陸沿岸特有の神秘性と荘厳さを持った巨石群によって出来ており、この地方随一の「海食景観」を誇っている。

この岬は、まさしく巨岩の城壁というべき有様ですが、ここに「アンコ・アキラメロ岩」という奇妙な名の岩がある。もとは「倉ガケ」とも呼ばれていたようですが、「アンコ・アキラメロ岩」と呼ばれるようになった由来を次のような「兄弟哀話」が伝えている。

昔、碁石浜の近くに2人の漁師の兄弟が住んでいた。たいへん仲の良い兄弟で、何をするにもいつも一緒に近所の人々からも羨ましがられているほどであった。或る日のこと、兄弟はいつものように、揃って浜へ出かけようとしたが、2・3日未時化のため、波が荒かったので碁石岬の上にある松林へ薪取りに出かけることにしました。その松林は、部落の共有の林で「ゴンドの口開け(松の落ち葉や、枯れ木を自由に拾ってもよい日)」になっていませんでしたが、「倉ガケ」の途中に、大きな松の枯れ木が倒れているのを見つけたので、それを拾いに行こうと弟が兄を誘ったのでした。2人は長いアラ縄を持って出かけました。倉ガケに着いて「ガンカケ(絶壁)」の上から見下ろすと、なるほど大きな松の木がややなだらかな所の、岩と岩の間に倒れています。岩の下を見下ろすと、荒波が渦を巻いていて、目も眩むほどの高さです。「アンコ(兄よ)、気をつけろや」と、弟は大声で注意をしました。兄は、ようやく松の木のところまでたどり着きました。体に巻いた縄をほどいて、松の木に結びつけ、引き上げると合図しました。弟は合いよしと、縄の端を立木の根元にしばりつけようとした時、突然、下の方から兄の悲鳴が聞こえてきました。仕事が無事に一段落した安心さもあったのでしょうか、ホッと一息入れて、さらに一步上に登ろうとして足を踏み外し、海に落ちてしまったのです。見ると、荒れ狂う大波と戦いながら必死に岩礁にとりすがろうとされています。弟は「たいへんだ!」と、大声で叫びましたが、あたりには人影もありません。縄を投げ下ろそうとしても、とても下には届きそうもないのです。舟を出そうにも、近辺一帯は、いたるところ巨岩のそそり立つ絶壁の連続です。だいいち舟をまわすだけの余裕も暇もないのです。ここは昔から舟の難所(難破して助かった者は1人もいないという場所なのです(漁師にとって絶望の地))という古老の言葉が今さらのように弟の脳裏をかすめます。弟は地団駄を踏みました。声を限りに叫びまわりました。絶望の余り、頭をかきむしりながら号泣しました。海鳴りの合間から「助けてくれ、助けてくれ!」という兄の声が途切れ途切れに聞こえてきます。弟は手にしたアラ縄を握り締め、オイオイ男泣きしながら叫びました。「アンコ・アキラメロ、あきらめてくれ」。

次号に続く (聖)

就任挨拶

末崎地区公民館長 新沼眞作

あの千年に一度といわれる東日本大震災から4年が過ぎましたが、いまなお仮設住宅での不自由な生活を余儀なくされておられる方々はじめ多くの被災された方よりお見舞いを申しあげます。

このたび、地区公民館長の任を担うことになりました。今、その重責を痛感しているところであり、向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とするものであります。当地区公民館といたしましては、いち早い震災からの復興を進めるため、第一に末崎町の

★感謝状授与

昨年度をもって御勇退されました末崎地区公民館関係役員8人に対し、4月13日、末崎地区公民館から感謝状を贈りました。

皆様、地域の融和と発展に大変ご尽力されました。心から感謝を申し上げます。

受賞者 (敬称省略)

末崎地区公民館長	近藤 均
末崎地区公民館書記	田畑基雄
末崎地区公民館書記	佐々木慧
神坂公民館長	武政久夫
平 公民館長	武田清一郎
梅神公民館長	細川幹雄
小河原公民館長	村上 求
門之浜公民館長	小松陽市

退任にあたって

前末崎地区公民館長 近藤 均

末崎地区公民館長として5期10年間町民の協力をいただき、大過なく職務を果たせていただきました。大震災後は復興、新しいまちづくりの推進が思うようには出来ず、あせりを感じて毎日でした。町民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

公民館・振興会の役員が一新され、新体制で末崎町の社会教育・新しいまちづくりの推進が図られることになり、安心して任を解かさせていただきました。長い間のご支援ご協力本当にありがとうございます。

★平成27年度役員紹介

(敬称省略)

◇末崎地区公民館

館長	新沼 眞作
主事	岩 脇 晶
書記	村上喜一郎
書記	菅野 一
監事	上部 泉
監事	新沼 紀三

◇末崎町振興会

会長	細川 武人
副会長	新沼眞作
事務局長	岩脇 晶
事務局長	村上喜一郎
事務局	菅野 一
事務局	上部 泉
監事	新沼 紀三

☆デジタル公民館まつさき活動

昨年度同様「学びを通じて被災地のコミュニケーション再生支援事業」(文部科学省・復興庁)への事業申請が採択され、現在準備中です。5月～28年2月まで隔月で実施の予定です。第1回の活動は5月23・24日もしくは30・31日の予定です。ご参加よろしくお願ひします。

なお、公民館のサイトではこれまでの活動報告や映像コンテンツを公開していきます。今月は新たに、2月14日の「気仙ボケ一座まつさき公演」の映像を公開しました。是非ご試聴ください。「デジタル公民館まつさき」のアドレスは館報最下部に示すとおりです。

☆いやしの集い

期日 5月10日(日)
24日(日)
時間 13時～16時
場所 ふるさとセンター ※裁縫道具をお持ちください。

ふるさとセンターからのお知らせ

これまで、ふるさとセンター利用申込・利用料金の支払い・問合せ等でしたが、4月21日(火)から9時～17時に改正されます。(月曜日の休館日除き)